

令和3年度 聖徳大学・聖徳大学短期大学部 教員免許更新講習 選択講習(通学講習)

講習の名称	講習の期間	対象	講習の概要	担当講師	時間数	認定番号
【選択】組織的に機能する保健室経営の進め方	令和3年8月12日	養護教諭(養護教諭向け)	子どもを取り巻く現代的な課題の解決に向けて養護教諭への期待が高まる中、学校経営における保健室経営の役割も大きくなっている。学校保健センター的役割を担う保健室経営の充実を図るため、課題解決型の保健室経営計画の作成のポイントと評価の方法を解説し、計画的・組織的に保健室経営を推進していくためのヒントを実践例から検討する。	小林 芳枝(心理・福祉学部教授)	6時間	令03-90004-500674号
【選択】児童・生徒の保健指導up-to-date	令和3年8月13日	養護教諭(養護教諭向け)	児童・生徒の保健指導について、以下の4つについて、最近の知見を紹介しながら、わかりやすく解説する。なお、児童・生徒の救命救急処置については、映像で視聴して再確認する。①小児精神疾患(不登校、限局性学習症、注意欠如多動症など)up-to-date②学校検診(心臓病、腎臓病など)up-to-date③感染症、アレルギー疾患と代謝疾患(糖尿病、メタボリックシンドロームなど)up-to-date④救急蘇生法up-to-date	宮川 三平(児童学部教授) 宮本 茂樹(短期大学部保育科教授)	6時間	令03-90004-500675号
【選択】養護教諭の専門性を生かした健康課題への集団指導	令和3年8月19日	養護教諭(養護教諭向け)	養護教諭に求められる役割と専門性について再確認し、現代的健康課題の解決に向けて、養護教諭の専門性を生かした特別活動(特に、ショートの保健指導、児童生徒保健委員会活動)について、指導内容や指導方法、評価の方法等を検討する。	松原 みき子(兼任講師)	6時間	令03-90004-500676号
【選択】生徒指導の理論と実践	令和3年8月11日	中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭(中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭向け)	本講習では、中学・高校での生徒指導、教育相談、進路指導の意義と役割を再認識し、働き方改革についても再考する。その上で、いじめ、不登校、問題行動等の解決策や教育相談のあり方、進路指導の指導助言の方法等について、具体的な実践事例を通して指導力量を身につける。授業内容は、プリントを配付し、講義を中心に進めるが、協議や検討を積極的に取り入れて進める。生徒に係わるすべての教員にとって必要な職業的教養である。	壺内 明(元児童学部教授)	6時間	令03-90004-500677号
【選択】これからの授業の在り方	令和3年8月14日	中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭(中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭向け)	このたびの学習指導要領改訂を踏まえ、中学校・高等学校における今後の授業の在り方について講習を行う。つきましては、講義や説明の時間を可能な限り少なくし、今日的な課題や実践的なことがらについて、たとえば、受講者の方々の経験等の共有を図ることなどにより、日々の授業にすぐにも活用できるような内容となるべく進める予定。また、授業改善や生徒の学びの支援に資する学校全体での取り組みという観点から、養護教諭、栄養教諭も対象とする。	廣部 泰紀(大学院教職研究科教授)	6時間	令03-90004-500678号

【選択】教育法規の再検討—体系的理解のために—	令和3年8月15日	中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭(中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭向け)	この授業はわが国の教育法規の体系的・立体的な考察及び理解を目的とする。全ての法規は連関し共鳴し合っている。故に学校給食は食育基本法、学校保健は審議会答申にまで立ち返り検討する必要がある。場合によっては、わが国が加盟する国際条約や各省通知まで受講者の皆さんの考察対象になり得る。皆さんの内に潜むリーガルマインドを触発し、教育法規の体系的理解を推進する確固たる台座を構築したい。	小田 桐 忍(児童学部教授)	6時間	令03-90004-500679号
【選択】これからの小学校国語教育の在り方	令和3年4月25日	小学校教諭(小学校教諭向け)	このたびの学習指導要領改訂を踏まえ、小学校における今後の国語教育について、授業の在り方を中心とした講習を行う。つきましては、講義や説明の時間を可能な限り少なくし、今日的な課題や実践的なことがらについて、たとえば、受講者の方々の経験等の共有を図ることなどにより、日々の授業にすぐにも活用できるような内容となるべく進める予定。	廣部 泰紀(大学院教職研究科教授)	6時間	令03-90004-500680号
【選択】今、なぜ算数科で「読む」「書く」「話す」が重視されるのか	令和3年6月27日	小学校教諭(小学校教諭向け)	改訂学習指導要領は、「習得」「活用」「探究」の過程で「見方・考え方」を働かせ、より高次の「自立」「協働」「創造」を目指している。算数科では特に、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な資質・能力を育成することが重視されている。そこで、本講習では、数学的な見方・考え方を働かせること具体例を通して、①今、なぜ、算数科で「読む」「書く」「話す」が重視されるのか、②式等を読む、書く、話す能力を育成するための指導のあり方、特に、問題解決過程における「課題の焦点化」と「振り返り」の重要性について考察する。	一ノ瀬 喜子(児童学部教授)	6時間	令03-90004-500682号
【選択】主体的・対話的で深い学びを実現する社会科の授業づくり	令和3年7月4日	小学校教諭(小学校教諭向け)	新しい小学校学習指導要領の実施を視野に、小学校社会科の実践の方策を検討する。主な内容としては、「社会科教育に求められる資質・能力」「社会科の学習内容と教材開発」「社会科授業をアクティブにする指導法」などについて学修する。	廣嶋 憲一郎(兼任講師)	6時間	令03-90004-500684号
【選択】「特別の教科 道徳」の理解と指導法	令和3年7月18日	小学校教諭(小学校教諭向け)	小学校において、「特別の教科 道徳」が教育課程に位置付けられたことにより、学校においてはより質の高い授業の実践が求められている。本講習では、小学校の道徳教育の基本的な在り方や「特別の教科 道徳」の特質を学習指導要領解説書をもとに理解するとともに、具体的な授業づくりなど、実践的に役立つ内容について考察する。併せて、指導案作成などを行い、実践的指導力を高めていく。	吉本 恒幸(兼任講師)	6時間	令03-90004-500686号

【選択】小学校理科学習指導の基本	令和3年8月12日	小学校教諭 (小学校教諭向け)	小学校理科を指導する教員が身に付けておきたい内容を扱う。小学校学習指導要領理科の目標や内容を踏まえ、問題解決の活動を通して主体的・対話的で深い学びの実現を目指す学習指導の進め方を解説する。さらに、顕微鏡や上皿天秤等の実験器具の操作の仕方や、ガスバーナー・薬品等を扱うときの安全指導について、映像などで確認する。理科実験が得意でないという方を対象に講習を進めていく。	渡部 洋史(児童学部教授)	6時間	令03-90004-500688号
【選択】学習面や行動面に著しい困難のある児童への支援法	令和3年8月13日	小学校教諭 (小学校教諭向け)	学習面や行動面に著しい困難のある児童を対象としたアセスメントの道具(認知検査、学力検査、チェックリスト)の内容や活用方法の基礎を学ぶ。そのうえで、事例を用いて、学習面や行動面のつまずきと、諸検査の結果との関連を考察したり、対象児の強い力を活かし、弱い方に配慮する指導がなぜ有効かを考察したりする討議演習を行う。最終的には、受講生の身近な事例や仮想事例で、教材等を考案することを目指す。	東原 文子(児童学部教授)	6時間	令03-90004-500689号
【選択】今、なぜ算数科で「読む」「書く」「話す」が重視されるのか	令和3年8月22日	小学校教諭 (小学校教諭向け)	改訂学習指導要領は、「習得」「活用」「探究」の過程で「見方・考え方」を働かせ、より高次の「自立」「協働」「創造」を目指している。算数科では特に、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な資質・能力を育成することが重視されている。そこで、本講習では、数学的な見方・考え方を働かせること具体例を通して、①今、なぜ、算数科で「読む」「書く」「話す」が重視されるのか、②式等を読む、書く、話す能力を育成するための指導のあり方、特に、問題解決過程における「課題の焦点化」と「振り返り」の重要性について考察する。	一ノ瀬 喜子(児童学部教授)	6時間	令03-90004-500683号
【選択】主体的・対話的で深い学びを実現する社会科の授業づくり	令和3年8月27日	小学校教諭 (小学校教諭向け)	新しい小学校学習指導要領の実施を視野に、小学校社会科の実践の方策を検討する。主な内容としては、「社会科教育に求められる資質・能力」「社会科の学習内容と教材開発」「社会科授業をアクティブにする指導法」などについて学修する。	廣嶋 憲一郎(兼任講師)	6時間	令03-90004-500685号
【選択】これからの小学校国語教育の在り方	令和3年8月29日	小学校教諭 (小学校教諭向け)	このたびの学習指導要領改訂を踏まえ、小学校における今後の国語教育について、授業の在り方を中心とした講習を行う。つきましては、講義や説明の時間を可能な限り少なくし、今日的な課題や実践的なことがらについて、たとえば、受講者の方々の経験等の共有を図ることなどにより、日々の授業にすぐにでも活用できるような内容となるべく進める予定。	廣部 泰紀(大学院教職研究科教授)	6時間	令03-90004-500681号

【選択】「特別の教科 道徳」の理解と指導法	令和3年9月5日	小学校教諭 (小学校教諭向け)	小学校において、「特別の教科 道徳」が教育課程に位置付けられたことにより、学校においてはより質の高い授業の実践が求められている。本講習では、小学校の道徳教育の基本的な在り方や「特別の教科 道徳」の特質を学習指導要領解説書をもとに理解するとともに、具体的な授業づくりなど、実践的に役立つ内容について考察する。併せて、指導案作成などを行い、実践的指導力を高めていく。	吉本 恒幸(兼任講師)	6時間	令03-90004-500687号
【選択】造形活動の持つ学びについて	令和3年4月25日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)	造形活動には、様々な学びがある。指や手の運動や感覚機能を意識した造形、または、他者との協力を意識した造形など、同じ教材でも方法やプロセスの違いによって学びは変化する。この講習では、造形活動の持つ性質について事例を紹介し、実際に手を動かすを通して、「造形活動」の持つ学びのひろがりについて学習する。また、幼稚園教育要領の改訂ポイントについても学習する。	西園 政史(児童学部准教授)	6時間	令03-90004-500690号
【選択】保護者との連携～伝えよう、幼児期の教育～	令和3年6月6日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)	教育要領 第1章 総則 第6 幼稚園運営上の留意事項に、家庭との連携に当たっては、「保護者の幼児期の教育に関する理解が深まるよう配慮するものとする」と述べられている。家庭との連携を十分にとって、一人一人の幼児の生活について理解を深めるとともに、保護者が幼児期の教育や幼児の発達の道筋、幼児とのかかわり方への理解が深まるように、個人面談、懇談会、便り、連絡帳などの日頃の実践を振り返り、保護者への伝え方を考えてみよう。	古川 由紀子(短期大学部保育科教授)	6時間	令03-90004-500692号
【選択】子どもの育ちと遊び	令和3年6月13日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)	遊びは、幼児の成長、発達にとって欠くことのできない経験の場である。幼児が無我夢中になって遊ぶ姿を改めて見ると、発見や挑戦、友達との協同など様々な姿が見えてくる。ここでは、遊ぶことで幼児のなかに何が育つのか、幼児の遊びをどう理解したらよいか、幼稚園教育要領を踏まえて考えていく。そして、幼児の遊びの特徴と意義を再確認し、遊びの総合的指導について理解を深めていく。	近内 愛子(短期大学部保育科教授)	6時間	令03-90004-500694号
【選択】集団遊びの大切さを考える～鬼遊びを取り上げて～	令和3年6月13日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)	子どもが思いっきり体を動かして遊ぶ場を保証できるのは保育施設である。体操、水泳、サッカーなどの習い事は、体を動かす機会とは異なるが、自発的な遊びの中で多様な動きを身に付けることは異なる。ここでは、幼稚園教育要領の基本を踏まえ、集団遊びの中から鬼遊びを取り上げ、その中で子どもが体験する内容を確認するとともに、指導法について考える。	永井 妙子(短期大学部保育科教授)	6時間	令03-90004-500696号

【選択】保育内容の最新事情	令和3年6月20日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に 勤務する保育 教諭向け)	Society5.0の社会の推進、21世紀型能力の育成について 様々な資料をもとに考えていく。特に、思考力の芽生えを育 む保育、協同性の育成について具体的な指導を考える。ま た、その指導の中で、主体的・対話的で深い学びとは何かを 検討していく。	河合 優子(児童学部教授)	6時間	令03- 90004- 500698号
【選択】幼児理解を深め、保護者相談に生かす	令和3年6月20日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に 勤務する保育 教諭向け)	幼稚園教育要領等の改訂に伴い、保育の実践を見直すこと は大切なことである。幼児の成長発達は実に多様になってい るといえる。生活習慣が出来ておらず、おむつのとれるのが 遅い子どももいる一方、英語やピアノ等のおけいこ事が忙し い子どももいる。子どもの言動から子どもに今必要な援助が わかる保育者になるには、幼児理解の幅と、深さが必要とな る。その上で、保護者とどう向き合ったら良いかを、保護者理 解も含め、考え学び合う。	高橋 かほる(兼任講師)	6時間	令03- 90004- 500699号
【選択】領域「表現」と保育者の役割	令和3年7月4日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に 勤務する保育 教諭向け)	子どもの表現を支える保育者の姿勢について、保育者が行 う環境の構成、保育者自身の子どもに対するかかわり方の2 つの視点を通して学ぶ。講習後半部分は、音楽表現、造形 表現、身体表現に焦点を絞り、具体的に学んでいく。	関口 明子(児童学部准教授)	6時間	令03- 90004- 500701号
【選択】幼児の合奏 イキイキ・ワクワクリズム	令和3年7月11日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に 勤務する保育 教諭向け)	リズムの基本は歩くことから始まる。歩いて正確なbeat(ビ ート)をとらえ、そこからいろいろなリズムを生み出していく。「か えるのうた」でbeatの基本、ダイナミクス、フィーリング・タッ チを、「チューリップ」で“音の気持ち”を感じ取る。いろいろな楽 器を鳴らしながら、合奏の仕組みを学び、楽しくメロディ・ハー モニー・リズム・低音伴奏が出来るようになる。また、幼稚 園教育要領の表現領域において目的や内容も学ぶ。	山本 真理子(音楽学部教授)	6時間	令03- 90004- 500705号
【選択】ことばの力が育つ保育	令和3年7月11日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に 勤務する保育 教諭向け)	乳幼児期の発達や就学前教育を取り巻く今日的課題を踏ま えた上で、2017年告示版の「幼稚園教育要領」の内容を読み 解きながら、乳幼児期にふさわしいことばを通じた表現の教 育について多角的に考える。また、ことばの活動の実践事例 の検討や絵本を使ったグループ活動を通して、保育や子育て 支援等の場におけることばの活動の展開や必要とされる 技術、援助の在り方について考えを深め、今後の保育にど のように活かしていくかを考察する。	藪中 征代(大学院教職研究科教授)	6時間	令03- 90004- 500703号

【選択】人と関わる力を育む保育	令和3年7月18日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に 勤務する保育 教諭向け)	幼児期は人間関係を育む重要な時期である。講習では、他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う保育をめざし、①乳幼児期における人間関係の発達、②改訂された幼稚園教育要領の領域「人間関係」の理解、③5歳児の指導の在り方等について具体的に考える。	篠原 孝子(兼任講師)	6時間	令03-90004-500706号
【選択】幼児期の健康生活	令和3年7月18日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に 勤務する保育 教諭向け)	この講習では、平成30年度から実施された、『幼稚園教育要領解説』に示されている幼稚園教育の「改訂の基本方針」を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容、指導上の留意点などについて具体的に学ぶ。併せて幼児の健康生活を支える、「運動」・「食事」・「睡眠」等の生活習慣について、健康科学の視点から考究し、心身ともに健康な子どもを育成するための実践的知識を習得する。	佐野 裕子(兼任講師)	6時間	令03-90004-500707号
【選択】造形活動の持つ学びについて	令和3年8月11日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に 勤務する保育 教諭向け)	造形活動には、様々な学びがある。指や手の運動や感覚機能を意識した造形、または、他者との協力を意識した造形など、同じ教材でも方法やプロセスの違いによって学びは変化する。この講習では、造形活動の持つ性質について事例を紹介し、実際に手を動かすを通して、「造形活動」の持つ学びのひろがりについて学習する。また、幼稚園教育要領の改訂ポイントについても学習する。	西園 政史(児童学部准教授)	6時間	令03-90004-500691号
【選択】これからの造形教育を考える	令和3年8月14日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に 勤務する保育 教諭向け)	社会の様々な変化に伴い、今、幼児の造形は新たな展開の時期をむかえている。国内外の最新の実践事例を知ると共に、簡単な実技をとおしてこれからの造形教育を考えていく。造形教育をとおして、どのような力が身につくべきなのか、指導者はどのように関わっていけば良いのか等を再考する機会をつくる。また、改訂した幼稚園教育要領を踏まえて、表現と鑑賞の関係についても学ぶ。	大成 哲雄(児童学部教授)	6時間	令03-90004-500708号
【選択】領域「表現」と保育者の役割	令和3年8月15日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に 勤務する保育 教諭向け)	子どもの表現を支える保育者の姿勢について、保育者が行う環境の構成、保育者自身の子どもに対するかかわり方の2つの視点を通して学ぶ。講習後半部分は、音楽表現、造形表現、身体表現に焦点を絞り、具体的に学んでいく。	関口 明子(児童学部准教授)	6時間	令03-90004-500702号

【選択】言葉の機能と発達	令和3年8月19日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)	生まれたばかりの子どもは言葉を発しない。言葉をどのように獲得していくのか、言葉の発達の過程を振り返ってみる。また、言葉の機能とは何かについても復習する。日々の保育の中で、言葉に関して気になる点を出し合い、どのような援助が大切かを考える。今回の幼稚園教育要領の改訂で新設された言葉に関する点(言語活動の充実、言葉遊び、外国人幼児等)についても考える。	東川 則子(短期大学部保育科教授)	6時間	令03-90004-500709号
【選択】保育内容の最新事情	令和3年8月25日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)	21世紀をよりよく生きるために必要な能力について、幼児の思考力、規範意識の芽生え、コミュニケーション能力の育成について具体的な事例をもとに、指導を考える。また、その指導の中で、環境の教育的意識についても検討する。	塩 美佐枝(大学院教職研究科教授)	6時間	令03-90004-500710号
【選択】幼児理解を深め、保護者相談に生かす	令和3年8月25日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)	幼稚園教育要領等の改訂に伴い、保育の実践を見直すことは大切なことである。幼児の成長発達は実に多様になっているといえる。生活習慣が出来ておらず、おむつのとれるのが遅い子どももいる一方、英語やピアノ等のおけいこ事が忙しい子どももいる。子どもの言動から子どもに今必要な援助がわかる保育者になるには、幼児理解の幅と、深さが必要となる。その上で、保護者とどう向き合ったら良いかを、保護者理解も含め、考え学び合う。	高橋 かほる(兼任講師)	6時間	令03-90004-500700号
【選択】ことばの力が育つ保育	令和3年8月26日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)	乳幼児期の発達や就学前教育を取り巻く今日的課題を踏まえた上で、2017年告示版の「幼稚園教育要領」の内容を読み解きながら、乳幼児期にふさわしいことばを通じた表現の教育について多角的に考える。また、ことばの活動の実践事例の検討や絵本を使ったグループ活動を通して、保育や子育て支援等の場におけることばの活動の展開や必要とされる技術、援助の在り方について考えを深め、今後の保育にどのように活かしていくかを考察する。	藪中 征代(大学院教職研究科教授)	6時間	令03-90004-500704号
【選択】子どもの育ちと遊び	令和3年8月28日	幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)	遊びは、幼児の成長、発達にとって欠くことのできない経験の場である。幼児が無我夢中になって遊ぶ姿を改めて見ると、発見や挑戦、友達との協同など様々な姿が見えてくる。ここでは、遊ぶことで幼児のなかに何が育つのか、幼児の遊びをどう理解したらよいか、幼稚園教育要領を踏まえて考えていく。そして、幼児の遊びの特徴と意義を再確認し、遊びの総合的指導について理解を深めていく。	近内 愛子(短期大学部保育科教授)	6時間	令03-90004-500695号

<p>【選択】集団遊びの大切さを考える～鬼遊びを取り上げて～</p>	<p>令和3年8月28日</p>	<p>幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)</p>	<p>子どもが思いっきり体を動かして遊ぶ場を保證できるのは保育施設である。体操、水泳、サッカーなどの習い事は、体を動かす機会とは異なるが、自発的な遊びの中で多様な動きを身に付けることとは異なる。ここでは、幼稚園教育要領の基本を踏まえ、集団遊びの中から鬼遊びを取り上げ、その中で子どもが体験する内容を確認するとともに、指導法について考える。</p>	<p>永井 妙子(短期大学部保育科教授)</p>	<p>6時間</p>	<p>令03-90004-500697号</p>
<p>【選択】保護者との連携～伝えよう、幼児期の教育～</p>	<p>令和3年8月29日</p>	<p>幼稚園教諭 (幼稚園教諭、 幼保連携型認定こども園に勤務する保育教諭向け)</p>	<p>教育要領 第1章 総則 第6 幼稚園運営上の留意事項に、家庭との連携に当たっては、「保護者の幼児期の教育に関する理解が深まるよう配慮するものとする」と述べられている。家庭との連携を十分にとって、一人一人の幼児の生活について理解を深めるとともに、保護者が幼児期の教育や幼児の発達の道筋、幼児とのかかわり方への理解が深まるように、個人面談、懇談会、便り、連絡帳などの日頃の実践を振り返り、保護者への伝え方を考えてみよう。</p>	<p>古川 由紀子(短期大学部保育科教授)</p>	<p>6時間</p>	<p>令03-90004-500693号</p>